

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212Q304	急性期看護方法論Ⅱ (Nursing practice in acute state Ⅱ)	専門教育科目 成人看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	3	前	金・3 金・4	末弘 理恵・新宮 千尋・脇幸子・大野 夏稀・佐藤 昂 太朗 内線：5053 E-mail: suehiror@

【授業の概要・到達目標】

手術療法は、身体的な側面に加え、精神的・社会的にも影響が大きく、多くの場合、手術後の生活の再構築が必要となる。本科目は、成人急性期・回復期看護方法論での学習をふまえ、手術療法による影響とその看護について学習する。さらに、術後に機能低下もしくは喪失した機能に対する機能維持・回復のリハビリテーションや退院後のサポートシステムについて学ぶ。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 周手術期における対象および家族の特徴と看護の原則を理解できる。	○		○			○	
2. 周手術期における対象および家族への看護技術の原則を理解できる。	○	○	○				
3. 手術療法による機能低下もしくは喪失した機能をもつ対象および機能回復・維持に向けた支援について理解できる。	○		○	○		○	

【授業の内容】

1・2	周手術期にある対象への看護① ・周手術期の患者の特徴・倫理、手術前期の看護
3	周手術期にある対象への看護② ・手術を受ける患者への麻酔の実際と影響、手術治療の実際
4～6	周手術期にある対象への看護③ ・手術直前～中の看護、手術後期の看護
7	周手術期の対象を支える看護の実際① ・点滴静脈内注射の作成・実施
8～10	周手術期の対象を支える看護の実際② ・術直後の看護：準備・観察ケア、創傷ケア、離床
11	生活の再構築を余儀なくされる対象の看護① ・感覚器機能障害をもつ対象の看護
12	生活の再構築を余儀なくされる対象の看護② ・運動機能障害をもつ対象の看護
13	生活の再構築を余儀なくされる対象の看護③ ・性機能障害をもつ対象の看護
14・15	周手術期にある対象への看護④ ・事例検討の発表

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	看護技術演習、小テスト、授業評価シート記入	・周手術期の対象をイメージできるよう、事例を用いて、講義・演習・看護計画立案等を行う。 ・事例モデルや看護技術に関する物品を展示し、自己学習につなげる。
B：意見の表現・交換	○	グループ討議	
C：応用志向	○	ロールプレイ、事例課題（看護計画等）	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書・DVD・e-learningによる予習（15h）。事例の演習・アセスメント・看護計画立案のグループ討議（15h）。
事後学修	配布資料・教科書・小テスト・e-learningを用い、授業で学習した内容を復習する（15h）。

【教科書】

林直子他編（2024）看護学テキストNICE成人看護学急性期看護Ⅰ概論・周手術期看護改訂第3版南江堂 978-4-524-23231-4
野崎真由美他（2022）看護学テキストNICE成人看護学成人看護技術改訂第3版、南江堂 978-4-524-22954-3

【参考書】 黒田裕子監修（2021）：看護診断のためのよくわかる中範囲理論 第3版、Gakken 978-4-7809-1399-6

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3
レポート	10%	○	○	○
期末試験	90%	○	○	○

【注意事項】各授業の出席状況の確認は、授業評価シートの提出をもって行う。

【備考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	末弘 理恵 (看護師)、脇幸子 (看護師)、大野 夏稀 (看護師)、佐藤 昂太郎 (看護師)、新宮千尋 (医師)	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	無	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	初學者に対して、手術をうける者・家族のイメージが持てる様、臨地における具体的な治療や看護実践を伝え、周手術期看護の意義と重要性が理解できるよう、授業を構成する。	
授業形態	面接授業	